

令和7年 4月 18日(金)

あさひの日だまり

NO.3

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～参観日へのご来校ありがとうございました～

「楽しい学校」づくりに取り組みます

参観日へのご来校心より感謝いたします。新学期が始まって10日が過ぎました。早いものです。1年生は少しずつ小学校の時間の流れに慣れてきているように思います。新しい先生との出会いを迎えた子どもたちは、一生懸命に担任の先生の言うことを吸収しようとしています。新しい友だちとスタートを切った子どもたちは少し緊張気味に朝の会を迎えています。人は人と人との関係で振舞方や考え方が変容します。それが集団で生活することの意味です。この節目の人との出会いが子どもにとって明るい気持ちに結びつくものとなっていることを心から祈ります。

PTAの総会でお話をする機会をいただきました。時間も限られていますのでここに原稿を掲載させていただきます。後で目を通していただけたら幸いです。

辰野東小学校が目指す学校は「楽しい学校」です。

子どもたちが、学校が楽しいと思えるにはいろいろ大切なことがあると思いますが、そのうちの一つのことを特に取り上げてここ数年職員一同力を合わせて頑張ってきました。それは子どもたちに「自信」を持たせてあげたいということです。

「自信」を持っている子はいろいろなことに自分から「挑戦」してみようとしています。自分から「挑戦」したことには充実感と満足感を感じます。それはすなわち「楽しい!」という心の動きに通じます。失敗したとしてもそれは充実感と満足感に何の影響も与えません。私はそういうふう to 子どもたちが成長していってくれることを「自律した姿」という言葉で表現してきました。

私は子どもたちに講話でよくこんなお話をします。「私は小学生のころ忘れもの大魔王でした。いつも先生に怒られてばかりいて、なんでほかの友だちは私のように怒られないのかな、と不思議でなりません。だから自分に自信が持てなくていつもオドオドしていました。自分から何かしてみようという勇氣もありませんでした。だから学校がずっと退屈でした。」

これは本当に正直な私の小学校時代の事実です。そんな私の状況は中学校へ進学してもしばらく継続していました。

そういう私の過去の経験が「楽しい学校」を作りたいという願いに強く結びついています。

子どもたちが「自信」をもって色々なことに「挑戦」してくれたら学校はどんなに楽しいところになるだろうと思うのです。

私たちの仕事は子どもたちが「挑戦」できるチャンスをたくさん用意することだと思っています。

そして、勇氣を出して「よし、やってみよう!」と動き出した子どもたちの姿を心から「すごいじゃん」とほめてあげるのがとても大切だと思っています。「褒められて嬉しいな、自信がわいてきた」って子どもたちが感じてくれたらこんなに嬉しいことはありません。

今年1年間ご家庭と地域の皆様の支援をいただきながら、先生方と辰野東小学校が「楽しい学校」になりますように精一杯努めてまいります。ご支援ご協力何卒よろしくお願いいたします

～花壇ボランティアの方との交流～

子どもたちが育てた花で花壇を作りました

16日の水曜日、2年生と3年生の皆さんが城前線が突き当たるところにある花壇の植え付けをしました。花壇ボランティアの皆さん3名に来校していただき植え付けの方法についてご指導いただきました。きれいに整地された花壇に自分たちのパンジーが敷き詰められていくと「この黄色いのが私のなんだよ」「こっちのこの色が私の好きな色なの」と私に話しかけてくれました。

その子どもたちの輪の中に入って3名のボランティアの方が穴の掘り方から苗の置き方まで丁寧に指導して下さいました。私は毎朝この場所を通るので花の様子を見るのが楽しみになりました。

ボランティアの皆様に植え付け後に校長室へ来ていただき、色々なお話をお聞きしました。題名を「花壇ボランティアの方との交流」とさせていただきましたが、子どもたちとの交流も当然感謝でいっぱいですが、校長室でのお話が本当に楽しくて貴重な時間でした。

あさひの地の歴史のお話し。ご自分が小学生の頃思い出。この地から輩出された過去から現在までのたくさんの人材のお話し。世の中のこの頃の風潮に対する思い。聞いているだけで引き込まれてしまいました。色々なことを経験しているということは人としての厚みを増すことに繋がっているということを実感しました。「年の功」とはまさにこのことだと思いました。たくさんの方と交流するということは本当に楽しい時間です。これからも地域の方と交流できることに心から感謝するとともに心から楽しみたいと思います。



～学力学習状況調査が行われました～

6年生の皆さんが頑張りました

通称全国学テと言われる国語・算数・理科と学習等に関する質問紙の4つの調査が6年生を対象に行われました。



朝から午前中全てを使って6年生がテストを頑張りました。あくまでも「調査」ですので、テスト点は付きますが成績等には全く影響はありません。それではこのテストの目的ですが、本校の6年生の学習の成果について私たち教職員が指導の方法を振り返るのが主たる目的です。「この部分の指導が十分でないことがわかったのでこれから補充していく方法を考えよう」とか「この単元の指導方法を改善する必要がある」とか「重点的に力を入れて指導を工夫した単元の点数がのびているので来年も継続していこう」等の指導の方法について振り返りをしています。また、テスト結果については個票も送られてきます。こんな方法で勉強を

すると力がのびます。という学習方法を示唆する内容になっていますので、送られて来たら子どもたちに手渡しますので学習方法の参考にして下さい。

～桜の花が満開です～

子どもたちのお散歩に連れて行ってもらいました

2年生がお花見に行くというので連れて行ってもらいました。コースは城前線を国道方向へ歩きながら桜を眺め、辰野西小学校の遊具を借りて遊び、帰りはボランティアセンターで桜茶をごちそうになるという、聞いただけでもウキウキしてくる計画でした。



私は桜を見るといつも思うことがあるんです。それは、若木も老木も全く同じ花を咲かせることの不思議さです。若木は若々しい花を、老木は年輪を感じる花を咲かせるものではありません。どの木に咲く花も同様に瑞々しく美しいです。子どもたちのはじける若さは若木と重なり、黒々とした老木は自分と重なったりします。桜の木はすごいなと思います。その姿を見ていると「私も老け込んでなどいられない、頑張らなきゃ」という気持ちに少しなるのです。この日も子どもたちから若さ溢れるエネルギーをいただけたのでもう少し頑張れそうな気がしてきました。